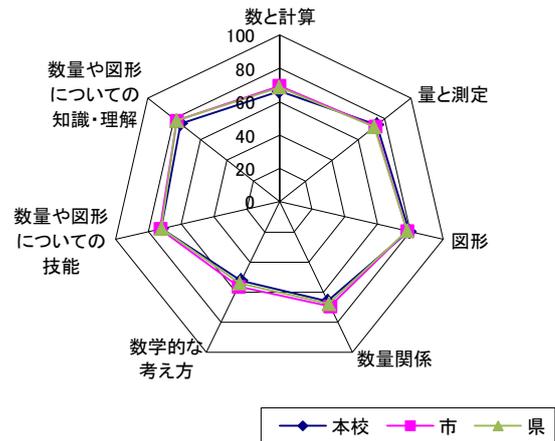


# 宇都宮市立平石北小学校第4学年【算数】分類・区別正答率

## ★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と計算	66.3	69.6	68.7
	量と測定	74.1	72.8	72.0
	図形	79.2	77.8	78.0
	数量関係	66.0	69.4	67.8
観点	数学的な考え方	52.4	56.3	54.2
	数量や図形についての技能	72.0	72.7	72.0
	数量や図形についての知識・理解	75.3	78.2	78.1



## ★指導の工夫と改善

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	・本校平均正答率は66.3%で、市の平均正答率を約3%下回っている。かけ算、わり算などの基本的な計算での正答率がやや低かった。	・単純なミスが多く見られたので、計算ミスを防ぐようしっかりと見直しをする習慣がつくよう支援していく。また、計算ドリル等の問題に繰り返し取り組ませていく。
量と測定	・市の平均正答率を上回っている。しかし、長さ・重さの領域では、平均を大きく上回っており、定着をしていると考えられるものがある一方、大きく下回っているものもあり、差が見られた。	・活用問題は、学んだことが生活に生かされているかを考えることが大切である。教科書での学習だけでなく、体験学習を多く取り入れ、活用できるようにしていく。
図形	・市の平均正答率を上回っており、正答率も80%弱と、基本的な内容は、理解・定着していると考えられる。	・基本的な学習を生かして考える問題につまずきが見られる児童が数名いるので、学習した内容から考えるヒントを助言するなど、考える手立てを工夫していく。
数量関係	・本校の平均正答率は66.0%で、市の平均正答率69.4%を約3ポイントほど下回っている。県の平均も下回っており、特に、棒グラフの読み取りが低かった。	・棒グラフの読み取り方の理解が十分でないと考えられる。基本的な内容を再度確認し、理解の定着を図っていく。